

In Germany

(コンパメッド)

国際医療部材展示会COMPAMED出展



日時:11/17(水)~11/19(金) 場所:ドイツ デュッセルドルフ

出展社数:575団体 来場者数:およそ16,000人

当センターでは、岩手県の補助事業である「コバルト合金新産業クラスター創出促進事業」をこの4月より推進しておりますが、本事業における海外の販路開拓の一環として、昨年に引き続き、世界最大級の国際医療部材展示会であるコンパメッドに出展いたしました。当ブースにも29社、31人の来場をいただきまして、このコバルト合金に対する期待の大きさを実感する展示会でありました。

本 事業で事業化を推し進めるコバルト合金は、前年度まで取組んでまいりました文部科学省委託事業の「都市エリア産学官連携促進事業」の中で千葉晶彦研究統括(東北大学教授)らによって研究開発されたもので、金属アレルギーの代名詞的存在である「ニッケル」を添加せず実質無害化した「ニッケルレス」のコバルト合金であります。

そして、平成21年度にその技術が釜石市の企業に技術移転され、現在その合金材料を使って様々な用途への展開を図っていると

ろですが、ニッケルアレルギーが社会問題化しているヨーロッパでは、この合金に対する関心も高く、多くの引き合いがありました。

今後も、このような海外の展示会でのPRを展開していくとともに、県内・国内での販路開拓も推進し、コバルト合金による新たな産業と雇用の創出を目指して取組んで行く所存です。

このコバルト合金材料を使った製品開発に興味をお持ちの企業様がございましたら、当センター事務局までお問い合わせ下さい。

担当 ■■■

人材・技術開発支援グループ

主事/高館 睦

TEL/019-631-3825

FAX/019-631-3830

Email/a_takadate@joho-iwate.or.jp



HOSPEX Japan2010

(第39回日本医療福祉設備学会併設展示会)

共同出展報告

平

成22年11月17~19日の3日間東京都のビッグサイトで開催された、日本医療福祉設備学会併設展示会「HOSPEX Japan2010」に、岩手県内企業との共同出展の形で2小間を確保し、県内企業7社が出展しました。

この展示会は、医療機器製造技術者や医療従事者に対し、大手医療機器メーカーを初め、医療機器産業分野への参入を目指す企業等が、自社製品や優れた加工技術などの幅広い展示を行い、新規顧客獲得や販路開拓を目的として開催しているもので、今回は3日間で延べ34,342

人(17日11,138人、18日11,028人、19日12,176人)の来場者を数え、会場のいたるところで名刺・情報交換、商談が行われておりました。

岩手県からは、いわて医療機器事業化研究会会員企業7社の参加を得て、自社の製品、技術等を工夫を凝らして展示しておりました。また、地域イノベーションクラスタープログラム事業の「いわて発」高付加価値コバルト合金の活用技術及び、いわて医療機器事業化研究会の活動内容等も紹介し、試作開発医療機器の販路開拓や固有技術を活用した医療機器関連の受注拡大の一助となった展示会でした。

共同出展企業名

- 1 (株) アイカス・ラボ
- 2 (株) 岩手東京ワイヤー製作所
- 3 (株) 釜石電機製作所
- 4 三光化成(株)
- 5 品川光学(株)
- 6 (株) 新興製作所
- 7 (株) 東亜電化